

XIII International Cyclodextrin Symposium参加報告書

博士後期課程1年 原田研究室 宮脇 敦久

XIII International Cyclodextrin Symposium

May 14-17 2006 “Torino Incontra” Congress Centre

Torino[Italy]

International Cyclodextrin Symposiumはシクロデキストリンに関する国内外の研究の連絡と研究の進歩・教育の促進をはかり、もって学術の発展及び技術の向上に寄与することを目的とし1981年にBudapestにてProf. Jozsef Szejtliによって設立され、2004年のMontpellierに続き、今回Torinoにて開催された。

上記シンポジウムにて、ポスター1件の発表を行った。ホストであるシクロデキストリンにゲストとなる置換基を導入した修飾シクロデキストリンをモノマーユニットとした超分子ポリマーの構築に関するもので、タイトルは “Branched Supramolecular Polymers Formed by the Complexes of Monotopic and Ditopic Cyclodextrin Derivatives”である。

今回の発表は、私にとって初めての国外での国際シンポジウムであり、発表分野の広さ、自分が日々取り組んでいる研究テーマの世界における位置付け、意義を改めて認識することが出来た。また、ポスター発表を行うことで双方向なディスカッションを行うことができ、様々な研究分野の方から意見交換することができた。さらに帰国後、研究結果を論文にまとめるにあたり、これらの経験は非常に有益なものであった。



国際シンポジウム参加にあたり支援いただいた魅力ある大学院教育イニシアティブ「インタラクティブ大学院教育」に心より感謝致します。